

医療安全推進ネットワーク！

医療安全推進ネットワークは、医療安全管理者や医療安全推進担当者の中で、医療安全に係わる情報交換や問題の共有などにより、有用な医療安全情報を組織横断的に普及させることを目指しています。

参加者は神奈川県看護協会員で【医療安全養成研修】を修了した人、もしくはこれに準ずる研修を終えた人で、年間 70～80 人程で活動しています。

医療安全推進ネットワークは、医療安全管理者同士が主体的に活動しています。

具体的には、月に1回神奈川県看護協会に集い、医療安全管理者同士で情報交換や新たな知識の習得を行います。県内全域から神奈川県看護協会へ出向くことは、参加者の負担も大きいとのご意見もあり令和4年度からは、医療安全推進ネットワーク交流会を「集合」と「ZOOM」のハイブリット形式で医療安全推進ネットワークを開催しています。

また、グループウェア(J-MOTTO)を活用して、医療安全活動を進めていく上での相談・課題を投稿し、メンバーからのアドバイスや資料提供などの情報交換を行っています。

この情報交換システムは、施設を超えてタイムリーなやりとりができることから、施設で孤軍奮闘する医療安全管理者達に好評です。医療安全推進ネットワーク内での意見交換・情報交換に関しては、参加者全員が、神奈川県看護協会が規定した個人情報規約に同意いただいた上で運営しています。

施設を越えたネットワーク作りで、神奈川県全体の医療安全がさらに醸成されていくことを目指します。



医療安全ネットワーク交流会の様子